

對閣争等々、結黨後たゆみなき闘争をつゞけることによつて、萎微し行く社民黨と解消し行く勞農黨を壓倒しつゝ、組織の擴大強化を行ひ、あはせて所謂黨憲意識を揚業して合同政黨全國大衆黨意識を戦ひ取つたのである。

### 三、勞農議會闘争

濱口民政黨内閣は金融資本閣の傀儡として、金融禁、緊縮政策、産業合理化政策のあらゆる犠牲を労働者農民に轉嫁し、無産大衆の負擔の軽減に一指を染むることなく、却つて窮乏せる農民の納稅延期運動にさへ彈壓を加へ、飢饉に瀕する民衆の不平不満を欺瞞と暴壓を以て隠蔽しつゝある。

ロンドン軍縮會議は畢竟次の世界大戰、帝國主義戰爭勃發の危機をはらむ序幕に過ぎない。されば軍縮會議にも拘らず加藤軍令部長を盟首とする軍閥の要求は猛烈を極め、延いて樞密院對政府の抗争となり、野黨政友會の倒閣策動と結びつき反動勢力總動員の觀を呈した。我等は濱口内閣の打倒と、封建的殘存物たる樞密院の廢止、參謀本部、軍令部等による陸海軍帷幄上奏權の廢止と、所謂軍縮剩餘金留保財源)の無産大衆負擔軽減並に社會政策の施設への獲得と、一石二鳥の見地より、此政變を利用し、樞密院廢止と

帷幄上奏權廢止を叫び、此問題に關聯せしめ八月廿八日正の如き臨時議會召集要求の決議を爲し政府につきつけた。

#### 臨時議會召集要求に關する決議

都市に於ける失業、農村に於ける暴落は地獄地獄を待つ。唯だる窮迫非常の狀態にある政府は即時臨時議會を召集し、前此二大條件に對する緊急の國策を決定せしめ召集するに同意す。政府は臨時議會を迎へて、刻下の政治問題たるロンドン條約に關する政府と樞密院及軍令部との諸種海軍軍備剩餘金の總額並に使途、陸軍部對警察等の内容を公開し、大衆をして樞密院倒閣、帷幄上奏權に對する最後決議をすべき國策を與へんことを併せて要求す。

昭和五年八月二十八日

全國大衆黨常任委員會

然るに濱口内閣はこの民衆の切實なる要求を蹂躪したるのみならず、樞密院との抗争も意思に反して極めて非公開であつた。然し此極めて低調なるが如き臨時議會召集の要求こそは我等が勞農議會召集の前提條件だつたのである。黨本部は十月一日發行の全國大衆新聞を通じて、十一月二日勞農議會召集を飛檄し、農村窮乏之打破、失業反對、生活防衛、自主的勞働組合法小作法獲得、濱口内閣打倒、暴壓反對の諸闘争を勞農議會に集中すべき旨指令した。我等は

インフレーション會議の激情的決議を此黨憲意識の中核のんべんだらりと待つては居られない。勞農者農民無産市民の獨自の意思表示機關としての勞農議會をもつべきであると我等は主張した。

かくて十月十日より十九日を第一期とし、二十日より十一月一日までを第二期とし之を勞農議會闘争週間と名づけ各地の闘争を府縣聯合會中心に展開し、而る後十一月二日東京、大阪に之を集中決行するに至つたのである。

#### (イ)東京に於ける勞農議會

東京に於ける勞農議會は、十一月二日、東京、芝協同會館で開催された。午前九時驟雨を衝いて、岐阜以東北海道までの代議員を東京驛に迎え、麻生氏を先頭に威聲と共に會館までデモを敢行し、集まるもの千餘。やがて午前十一時三輪書記長開會の辭を述ぶるや中止檢束、河野密代つて開會を宣し、

議長麻生久氏、副議長堺利彦、須水好氏、を選任し、麻生議長就任の挨拶を述ぶるや中止檢束さる。この官憲の横暴に對し代議員は憤激し議長奪還のため議場混亂に陥り、細田、角田、粕谷外二名議長の奪還を爲さんとて檢束さるだが大衆の壓力に依つて議長を奪還し議事に入る。それに

先き立ち、大會執行委員と書記を任命す。

大會執行委員 藤崎一盛、秋山要、菊池登之輔、菊地重作、泉國三郎、近藤榮藏、高原淺一、川俣清音、大木武雄、小島小一郎、佐藤、竹内五郎、石井、西谷、荒谷宗一、加藤、山本誠一。委員長荒谷宗一

大會書記、書記長松本淳三、書記、角田藤三郎、渡邊物藏、岡田宗司

次いで本部並に地方情勢報告に入る。報告者いづれも皆中止を命ぜらる。この間、報告半ばにして高原淺一君「愛宕岩に檢束されてゐる細田、角田を奪還せよ」の緊急動議を提出し説明中、中止と共に檢束さる。斯る官憲の暴舉と抗しつゝ、議事に入る。

#### 議事

- 一、失業對闘争の件 (河野密氏) 説明中「勞農議會は労働者農民の議會を意味し、現在の『臨時議會』と述ぶるや中止。渡辺初太郎氏代つて説明。
- 一、養成演説を近藤榮藏君が爲し原案可決。次いで洋モス學團より洋モス女工四野ふじ子氏等演説の報告を爲す。
- 一、自主的勞働組合法案通過の件 (河野密、細田清吉氏) 養成演説は白鳥源次氏及び藤原宗氏(中止)で原案可決